

高等学校部会第1回推進本部報告資料

1 開催状況の概要

- (1) 日時 令和3年7月27日(火) 午前10時から午前11時30分まで
 (2) 場所 Zoomによるオンライン会議
 (3) 出席者 高等学校部会員8名 全員出席

2 高等学校ICTスキル習得体系表(案)

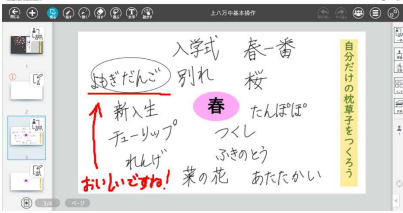

分類		生徒の目指すべき姿
基本的な 操作等	アプリケーション操作	・目的に応じて、必要なアプリケーションを選択したり、複数のアプリケーションをその特質に応じて連携させたりして、効果的に作業を行うことができる。また、その際に授業支援アプリケーションを有効に活用し、他者との共同作業を行うことができる。
	カメラ機能活用	・記録された静止画や動画のデータを、その目的に応じてより効果的に利用できるよう、必要なソフトウェアを用いて加工することができる。
	文字入力	・Webなどから得られる多様な資料をもとに論理的に考え、様々な観点から自分の意見や考えを、相手や目的に応じた方法でまとめ、効率を考えて入力することができる。
問題解決 ・探究に おける情 報活用	分類整理・ まとめる力	・階層構造を考えてフォルダを作成し、複数のファイルをわかりやすく整理し、管理することができる。 ・目的に応じて情報と情報技術を適切に活用し、モデル化やシミュレーションを通して問題に対する多様な解決策を模索できる。
	プレゼンテ ーションカ ン	・プレゼンテーションソフトを使い、自らの意見や研究内容を適切にまとめたスライドショーを作成したり、目的や受け手の状況に応じて適切で効果的な組み合わせを選択・統合し、聞き手にわかりやすく伝えることができる。
	情報収集力	・インターネットや各種ファイル内から、目的や必要に応じた情報を効果的に検索・収集し、その妥当性や信頼性を吟味できる。
	コミュニケ ーションカ ン	・クラウドや画面の共有機能を使い、意図する活動を実現するための手順を意識して、話し合い・発表・課題研究等の協働作業を行うことができる。

情報モラル・情報セキュリティ	情報社会の倫理	・ 公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し、情報モラルを含む情報の妥当性や信頼性を踏まえた上で公正な判断を行い、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論することができる。
	情報に関する権利	・ 情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて理解し、考察することができる。
	危険回避	・ ウイルス、不正アクセス、詐欺等の犯罪など、インターネットの危険性を科学的に理解した上で、それらについて適切に行動できるとともに、自ら情報発信し、他者への啓発を行うことができる。
	情報の取扱い	・ メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について科学的に理解し、効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法に基づいて表現された情報を評価・改善することができる。
	健康面への配慮	・ 情報機器の活用について、自らが健康に留意した学習環境や望ましい習慣についてその意義を理解し、自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。
	安心・安全な利用	・ 情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術について理解した上で、情報セキュリティを確保する方法について考えることができる。

3 重点目標

タブレットの日常的な活用による、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指した、学校全体での組織的推進

4 教職員の取組例

分類	取組例
アプリケーション操作	<ul style="list-style-type: none"> 電子黒板や大型モニターに教師用タブレットを利用し、動画や写真、図表を投影しながら視覚的に理解しやすく、興味・関心を抱かせる授業を行う。 MetaMoJiClassRoomの機能（資料やアンケートの配付・回収、画面の共有、協働作業等）を活用した授業づくりを行う。 MetaMoJiClassRoomのモニタリング機能を利用し、教師用タブレットで、生徒が学習に取り組んでいる様子をモニタリングし、学習の進捗状況や取組状況を把握しやすくして、効率的に生徒の実態を把握する。 家庭へ持ち帰ったタブレットで、教育クラウドサービスClassiのドリル教材などを積極的に活用し、タブレット操作に習熟させるとともに、学力向上に努める。  <p style="text-align: right;">MetaMoJi ClassRoomの画面</p>
カメラ機能	<ul style="list-style-type: none"> 調査活動や実験結果などを写真や動画に記録し、最適な方法で保存し、ワークシートを完成させる。また、その結果を生徒全員で共有する。 朗読や英会話、楽器の演奏や歌唱、運動の様子などを定期的に動画で撮影し、確認しながら次の課題を見つける。 カメラ機能を使って、学習のまとめ等を動画で編集し、クラウド上で共有し、各種発表会やオンライン会議などで発表する。
文字入力	<ul style="list-style-type: none"> 各種課題を、家庭へ持ち帰ったタブレットを用いてオンラインで提出させる等の工夫により、タイピングによる文字入力を日常のものとする。 総合的な探究の時間の研究レポートや発表用ポスター、発表用スライドをワープロソフト、プレゼンテーションソフトを用いて作成することで、効率的な文字入力を体得できるようにする。 教育クラウドサービスClassiの学習記録機能を利用し、持ち帰った端末を用いて、毎日の学習状況を記録させる。履歴が蓄積してくことで、生徒は自身の進捗を調整することができ、教師もその状況を把握することができる。  <p style="text-align: right;">Classiの画面</p>
分類整理・まとめる力	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いや学習内容がよくわかるレイアウトになるように、必要な資料と情報を取捨選択しながらデジタルノートにまとめさせる。 教育クラウドサービス等を利用し、資料の保存等も教師が確認できるようにしておく。 各種情報を分析し、モデル化、シミュレーションを行う手立てを示し、問題に対する新しい解決策を導く手順を考えさせる。
プレゼンテーション力	<ul style="list-style-type: none"> 各種発表会などの優秀なプレゼンテーションを見せることで、自分のスライドとの違いや話し方の比較を行うことで改善点を把握させる。 自分のプレゼンテーションを動画で記録し、自身の発表を振り返ることで、相手に効果的に伝わっているかを考えさせる。

<p>情報収集力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・複数個の関連キーワードを組み合わせることで、目的のWebページを検索し、必要な情報を収集しやすくなることに気付かせる。 ・複数のWebサイトの情報を比較させ、情報の発信源を知ることや、信憑性のある情報を選択することを指導する。 ・徳島県GIGAスクール構想のWebページに掲載されている「GIGA・とくしま学び通信」で紹介されている、各教科でのICT活用の事例を参考にして、授業を実践する。 ・「家庭学習応援動画まなびのサポート」等を生徒に紹介し、家庭学習に利用させる。 <div data-bbox="906 309 1388 616" data-label="Image"> </div>
<p>コミュニケーション力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ZoomなどのWeb会議システムを利用し、オンライン会議等へ積極的に参加させ、発表の傾聴や、質疑応答の在り方を学ばせることで、社会で役立つコミュニケーション力を養う。 ・ZoomなどのWeb会議システムを利用し、オンラインによる海外との交流を行い、これからの国際交流の在り方を考えさせる。 ・プレゼンテーション資料や思考ツールなどを共有して、自分の意見を伝えられるようにする。 ・MetaMojiClassRoomのグループ学習シートを利用して、様々な情報を効率的に収集し、整理させる。また、担当する役割をはっきりと決めさせ、その役割を果たすことがグループでの課題解決に大切であることを学ばせる。 ・教育クラウドサービスのClassiの校内グループ機能で、与えられた学習課題に対して協働で問題解決を行う中で、オンラインでの議論や考え方を伝えるための工夫について学ばせる。 <div data-bbox="933 1030 1388 1265" data-label="Image"> </div>
<p>情報モラル・情報セキュリティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会で通用する情報モラルやセキュリティについての指導を行う。 ・年度末には、次年度に向けた情報モラル教育年間指導計画の見直しをする。 ・徳島県版モラル教育デジタルコンテンツ（中・高生版）を活用した指導を実施する。 <p>「徳島県立総合教育センターホームページ→GIGAスクール推進→情報モラル教育（全24話公開）」</p> <p>(例) インターネットの情報 (例) SNSへの注意喚起</p> <div data-bbox="399 1624 702 1870" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="917 1624 1220 1870" data-label="Image"> </div>

5 学校の取組例

- ・総合的な探究の時間等の発表会において、オンライン会議システムを利用し、複数の学校が参加して意見交換を行う。また県内外の大学教員等にも参加を依頼し、即時に指導助言をしてもらう。
- ・教育クラウドサービスClassiを利用して、学習時間やWebドリルの回答数のデータの調査を行い、全校生徒で統計を取り、担任が個人面談等で活用するなどして学習意欲の向上を目指す。
- ・課題研究などで、環境変化や農作地の土壌の状態をセンサーを用いてデータ化し、分析することで地方創生に役立つ研究を行う。

6 今後のスケジュール

- ・学校計画訪問での指導・助言（9月～3月）
- ・GIGAスクールサポート事業での校内研修支援（9月～3月）
- ・Webサイトでの情報発信（9月～3月）
- ・部会での進捗状況報告・指導・支援内容の改善検討（10月）